



熊本県立球磨工業高等学校

Kuma Technical High School



1. 工業高校で何を学べる？

学校のHPはこちら→

普通高校と違って、工業高校でしか学べない専門科目があります。高校3年間で学ぶ科目のうち40%が専門科目です。本校には「機械科」「電気科」「建築科（建築コース・伝統建築コース）」「建設工学科」があり、それぞれの科に専門科目があります。

機械科

もの(者)づくり 技能士王国

本科では、機械全般に関わる座学（理論）と汎用機器及び先端機器を扱ったものづくりや実験などの実習（実践）をとおして、機械の生産現場で必要な知識や技術・技能を習得します。また、国家資格である「技能検定」取得を通じ、即戦力となる機械技術者を育成します。卒業後は、自動車、鉄鋼、航空機、産業用ロボットなど、幅広い分野で国内最大手のメーカーなどに就職でき、卒業生の多くが世界や全国各地で活躍しています。近年は、メーカーの技術開発職への配属もみられ、大学生と肩を並べ、メーカーの中枢で活躍しています。

電気科

豊かな生活を支える、電気のプロフェッショナル

電力、電気通信、自動制御、コンピュータ活用施設などの現場や保守管理等で働く技術者の育成を目指します。今後も、日常生活に欠かすことのできない重要な学科として、安定的な発展が期待できる科です。

建築科

我ら技術者集団、目指せ未来の匠

〈建築コース〉
「地震から建築物を守るためには」「快適に過ごせる建築物とは」など、安全でニーズに即した建築物を建てるために必要な知識と技術を幅広く習得します。設計士や施工管理者、一般大工などの養成が主です。
〈伝統建築コース〉
全国的な注目を浴びているコースです。日本の伝統技術について詳しく学び、一般大工、宮大工、文化財修復などのエキスパートを養成します。現場で腕を磨いてきた職員が、直接指導に当たるので、生の技術を習得できます。

建設工学科

人々が安心して暮らせるまちづくりー地域を守る技術者を目指そう！

ネットで購入したものが数日後に届くのはなぜ？それは、空港や港、高速道路が整備されているからです。これらを社会基盤といい、ダムや護岸、防波堤など、私たちの生命や財産を守るものもあります。こうした社会基盤を計画し、建設し、維持するのが建設技術者の役割です。また、災害の発生時には、いち早く駆けつけて救助や支援物資を移送するための道路を復旧します。みんなが安心して快適に暮らせるまちづくりに貢献します。

1週間あたり29単位+(LHR1単位)

1年

普通科目19単位(66%)

専門科目10単位(34%)

2年

普通科目16単位(55%)

専門科目13単位(45%)

3年

普通科目17単位(59%)

専門科目12単位(41%)

「スマート産業」最新機械設備保有



万能試験機



マシニングセンタ



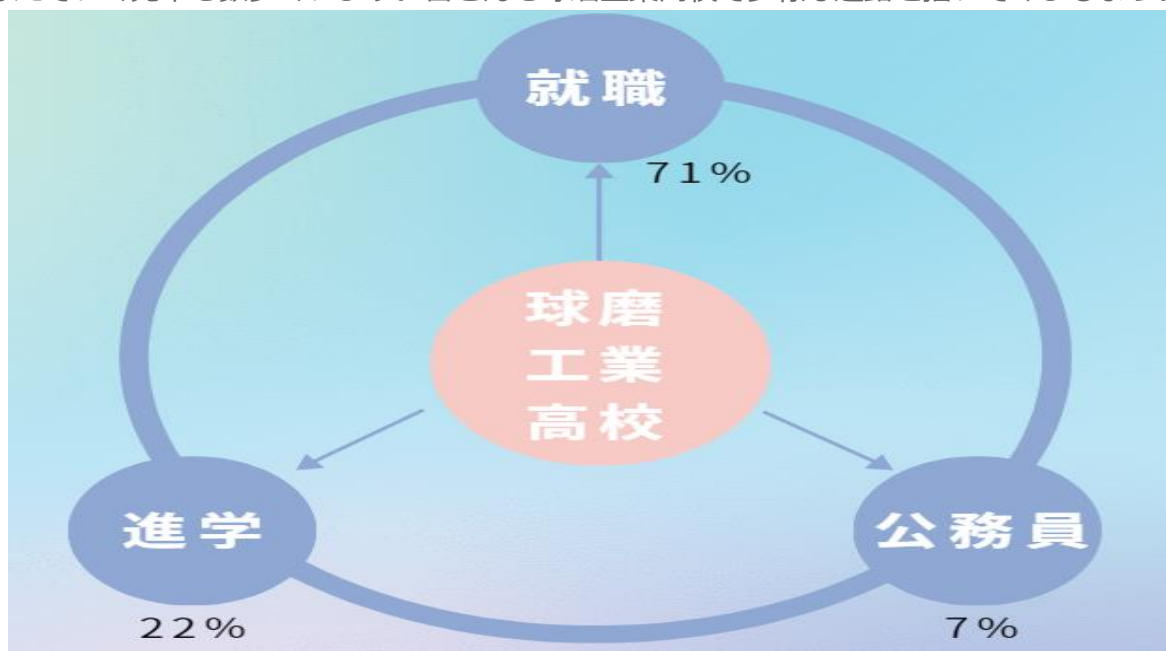
CNC旋盤



3DCAD

2. どんな進路があるの？

工業高校を卒業する生徒たちの進路は様々です。昨年度卒業生で言うと、就職が最も多い（71%）ことは事実ですが、毎年進学（22%）や公務員（6%）を希望し、努力の結果夢をかなえていく先輩も数多くいます。皆さんも球磨工業高校で多様な進路を描いてみましょう。



必ずしも工業高校に来たから就職すべきというわけではありません。どんな進路を選ぶにしても一番大切なのは進路実現に対する強い思いです。その思いの原石を球磨工業とともに磨きましょう！

※数字は昨年度（R5年度）の進路実績による

3. どんな資格を取得できるの？

多くの資格を取得することで認定されるジュニアマイスター顕彰制度というものがあります。全国に600校ある工業高校のうち上位30校に与えられるジュニアマイスター認定優秀校に、本校は8年連続で選ばれており、全国的に見ても資格取得に顕著な結果を出していると言えます。資格には、どの科でも取得できるもの（パンフレットP.4）もあれば、その科でしか取得できないもの（パンフレットP.8～11の各科ページ）もあります。

4. 体験入学の日程は？

令和6年（2024年）8月1日（木）

球磨工業高校のことをもっと知りたい、興味がある方は、ぜひ体験入学に来て見たり体験したりして、球磨工の魅力を知ってください！ 申込フォームはこちら→

〆切7月12日（金）

